

2021年2月9日

MFJ全日本モトクロス関係者各位

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
MFJモトクロス委員会
(株)MotoSportsPromotion

2021年全日本モトクロス選手権シリーズ MSP競技運営チームについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

MFJの組織変更により、MFJ加盟団体が2021年3月をもって解散となります。これに伴い、全日本モトクロス選手権シリーズにおいても運営体制を大幅に変更することとなりました。シリーズを通じた安全面・運営面の統一化、シリーズの興行化促進を目的とし、新たにシリーズ管理組織「Moto Sports Promotion (MSP)」(代表 中西 悟)と協力し、全日本モトクロス選手権シリーズ各大会の運営にあたります。従来のレースアドバイザー制度をアップグレードさせた、「MSP競技運営チーム」として4名を全戦に派遣します。

「MSP競技運営チーム」の主な役割について、以下にお知らせいたします。(2021年2月現在)

1 レースディレクター

- ・ シリーズ全戦が規則とガイドラインに沿った均一な運営がされるよう管理する。
 - ・ 競技監督と協議の上、レースをコントロールする。
 - ・ レースディレクションメンバーの1人であり、ディレクションミーティングの議長を務める。
- ※ レースディレクションはレースディレクター、セーフティオフィサーに競技監督を含めた3名で構成され、競技運営を統括する。

2 セーフティオフィサー

- ・ 常にレースを監視し、安全面についてレースディレクションに提案を行う。
- ・ レースディレクションメンバーの1人。

3 テクニカルオフィサー

- ・ 車検のガイドラインに基づき、人員・機材・ロケーション・音量測定場所等の確認と指導を行う。
- ・ 車検時を中心に、レースウィークを通して車検長を補佐する。
- ・ 車両規則の解釈に関しレースディレクションに見解を述べる権限を有する。

4 コースビルダー

- ・ 主催者と協力しコースレイアウトを作成する。
- ・ 走行中、常にコースコンディションを確認し、安全上の理由によるコース補修、散水等をレースディレクションに提案する。